

書類交付

下記の順路に沿って各自配付資料を受け取り座席に着席してください。

ステージ上の配布物

順路

- 1 学生証をICカードリーダーにかざしてください。
- 2 ステージ上の配布物を1部ずつ取り、着席してください。
- 3 着席の際は、座席番号がついている座席に着席してください。
- 4 着席後、アンケート説明資料を確認し、アンケートに必ず回答してください。(アンケートの回答をもって出席とします)

アンケート

新入生対象 アンケートのお願い

新入生の入学動機・大学生活で取り組みたいことの把握や今後実施予定のクラス担任との面談に際しての基礎情報として活用することを目的に新入生アンケートを実施いたします。

QRコードからアンケートサイトに移動し
内容に沿ってご回答ください。

- ※ 回答時間短縮のため、学籍番号を記録できる設定で調査を実施しています。
- ※ 回答は統計的に処理され、個人が特定されることはありません。

QRコードを利用できない方はURL を入力してください。

<https://forms.office.com/r/HCM5EH8jyW>



教務ガイダンス

国際文化部 日本文化学科 1年次

※配布の「配布書類及び解説」に記載されているものが、
すべて手元にあるか確認してください。

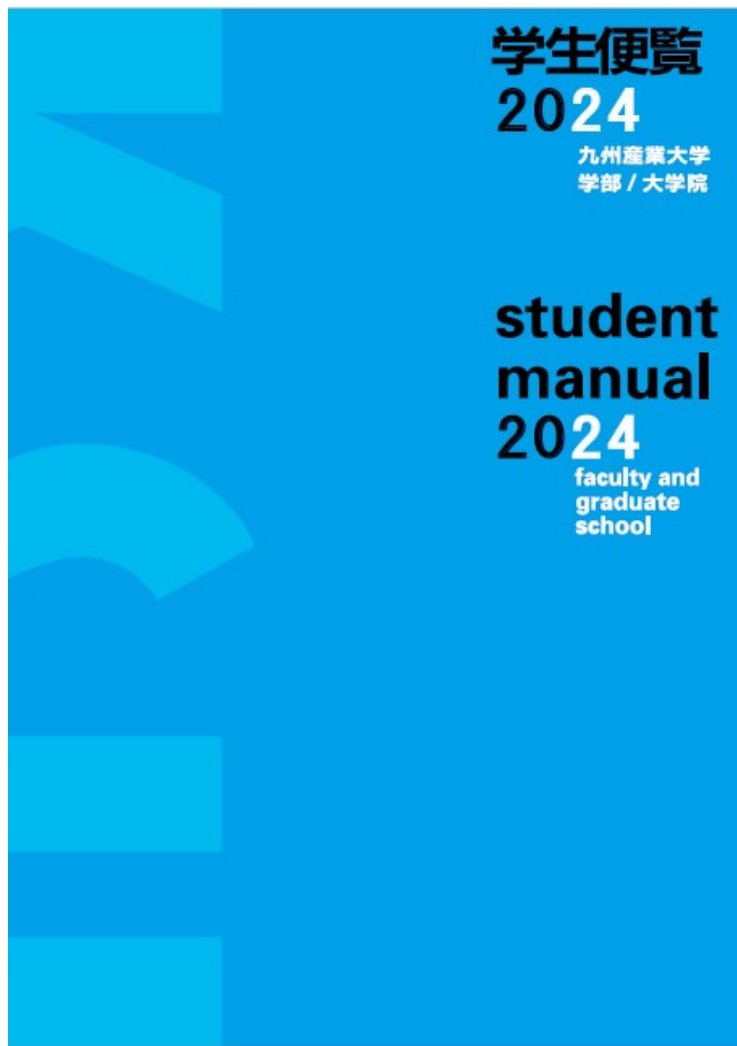


高校と大学の違い

| | 高校 | 大学 |
|-----------------|----------------------|--|
| 学期制 | 3学期制(原則) | 2学期制(前学期・後学期) |
| 授業時間 | 50分 | 100分 |
| 授業時間割 (履修) | 指定されている (クラス共通) | 自分自身で 選択 する |
| クラス制及び クラス担任 | あり (1クラス10~20人程度) | あり (ゼミナール担当教員) |
| 教室 | 指定されている (クラス共通) | 選択した授業科目によって 異なる (授業科目ごとに指定) |
| 卒業要件 | 学年制(原則) | 単位制 (124単位以上) 各学部の卒業に必要な単位数を修得する |

大学生は「自己選択→自己決定→自己責任」

学生便覧



在学中、すべてのルールは
学生便覧に基づいている

学年暦(P.1)

1年間のスケジュール

一般のカレンダーと**異なり**、
休暇期間・祝日授業日等
を掲載

学生便覧【建学の理想と理念について】

九州産業大学 1960年設立

創設者 中村治四郎(1907年～1974年)

〈建学の理想〉 学則 第1条
(学生便覧4P)

産学一如

産業と大学は車の両輪のように一体となって、
時々の社会のニーズを満たすべきである。

〈建学の理念〉 学則 第1条

市民的自覚と中道精神の振興
実践的な学風の確立

〈人材育成及び教育研究上の目的〉
学則 第1条の2 (学生便覧4P)

九州産業大学は、広く産業界の期待に応えられる
「実践力」「熱意」「豊かな人間性」を持った人材を輩出することを目的としています。



学生便覧【修業年限・在学年限】

学則 第3条～第4条 (学生便覧 P5)

〈修業年限〉

第3条 本学の修業年限は、4年とする。

〈在学年限〉

第4条 学生は、8年を超えて在学することはできない。

2 前項の規定にかかわらず、編入学又は再入学を許可された学生は、修業すべき年数の2倍を超えて在学することはできない。

**学生便覧5ページにマーカーなどを
引いてわかるようにしておきましょう**

学年暦【定期試験・追試験】

前学期授業: 4月 8日 (月) - 7月19日 (金)

後学期授業: 9月16日 (月) - 12月24日 (火)

[授業回数: 半期14回・通年28回]

| | |
|----------|--|
| 祝日授業実施日 | 4月29日 (月) 昭和の日 7月15日 (月) 海の日 9月16日 (月) 敬老の日 9月23日 (月) 振替休日 (秋分の日) 10月14日 (月) スポーツの日 ※授業日のため忘れずに登校すること! |
| 補講日 | 土曜日または平日6限目に実施 |
| チャレンジマンズ | 夏季: 7月28日 (日) - 9月15日 (日) 春季: 1月21日 (火) - 3月20日 (木) ※長期休業期間中の学外での活動を推奨 (海外留学、ボランティア活動、インターンシップ参加など) |

学年暦【定期試験・追試験】

定期試験

前学期 | 7月22日（月）－ 7月27日（土）まで

後学期 | 1月10日（金）－ 1月20日（月）まで

追試験

定期試験を**病気、その他やむを得ない事由**で受験できなかった学生に対して行う。

追試験を申し出ることができる事由は**学生便覧**を確認すること。

K'sLife(ケースライフ)



毎日確認しましょう

個人の履修登録、成績、連絡通知について
閲覧可能なWEBサイト



時間割（授業・定期試験）など教務に関する情報を掲載

トップページ

- 教務課からのお知らせ
- よくある質問
- 利用の手引き
- 学籍関係 etc...

学部別ページ

- 履修・授業・卒業に関すること
- 時間割
- 学部からのお知らせ etc...

AIチャットbot



チャットbotに質問

まずはクリック！

- 24時間365日対応可能なAIを使ったシステムです。
- 分からないことがあれば、まずはチャットbotに質問してみましょう！
- 教務部HP、K's Lifeの画面から質問できます。

履修登録



自分で時間割を作成し、
K'sLifeで授業科目を
WEB登録すること

本年度の履修に関する手引書。
講義受講の注意事項を記載。
必ず一読し、履修登録すること。

シラバス

シラバスの内容をよく確認
して履修登録をしましょう

チェックポイント

- ・ **コンピテンシー**
身に付けることができる能力

- ・ **ルーブリック**
成績評価のポイント
 - ・ 講義概要、講義計画
 - ・ 到達目標・予習、復習の時間
 - ・ 評価方法
 - ・ 注意事項
 - ・ 受講の条件
 - ・ 関連する科目
 - ・ テキスト

講義情報

コンピテンシー/Competency

得た知識や技能を基に自分の考えを組み立て、問題を正しく捉え、課題を考えることができる (問題発見力)

課題や目的に沿って、必要な情報を収集・整理できる (情報収集力)

論理的思考に基づき分析・解析し、適切に表現 (記述・口述) できる (論理的思考力)

講義概要/Class Outline

本講義では、国際文化学部DP2「文化や国際事情に関する自らの知識や考えを論理的に表現する力を有している」到達のため、国際文化学部CP2「多様な価値観を積極的に受け容れ考察する力を養う教育」及び国際文化学科CP1「現代社会で活躍できる語学力及びコミュニケーション力を養う教育」に基づき、初年、中学校および高等学校において、英語の授業を展開する際に英語学の知識を応用できるように、その基本的な学問体系を学び理解を深めることを狙いとする。英語学Iではとくに英語音声の仕組みや単語の成り立ち、文の配列など英語学の中核を構成する文法領域の知識を学ぶ。同時に、世界共通語としての英語の現状をその歴史を振り返りながら理解することを目指す。

講義計画(テーマ及び学習内容) (テキスト)

本講義は全14回の授業で構成される。14回の授業は各テーマに従い、4ブロックで構成される。第1ブロックは言語研究の枠組みと世界での英語の位置付けと変遷を理解し(初回)、その後英語の歴史的な変遷について学ぶ(第2-4回)。第2ブロックでは英語の音声の仕組みについて学ぶ(第5-7回)。第3ブロックでは英語の単語の成り立ち(第8回)と文の成り立ち(第9-11回)について学ぶ。第4ブロックでは第1言語と第2言語獲得の類似点と相違について学び、本科目のまとめを行う(第12-14回)。毎回の授業は前回の授業内容を前提とし、授業内容の定着のためにMoodle上で学習支援を行う。またそれぞれのブロックの学習内容を中学校および高等学校における英語の授業に適用するための工夫について、レポート課題で各自の意見をまとめ、Moodle上でグループによる討論を予定している。評価は定期試験に加え、レポートの内容と授業内発表による。

講義計画(テーマ及び学習内容)

| 回 | 内容 |
|---|--|
| 1 | 1 Introduction (授業内容・目標、課題、評価、受講上の注意事項などの説明) 2 提出課題の取り組み方法について 3 第1章 なぜ言語を研究するのか (英語学とはどのような学問か) 第2章 言語知識の性質 4 世界を取り巻く英語(1): 学校英語、母語話者の英語、世界共通語としての英語 |
| 2 | 1 世界を取り巻く英語(2): 英語の変異 2 英語史(1): 時代区分、イギリス英語・オーストラリア英語・アメリカ英語・カナダ英語の成立と特徴 |
| 3 | 英語史(2): 印欧祖語、古英語について 1 豊富な語彙変化(1)格について 2 豊富な語彙変化(2)法について |
| 4 | 英語史(3): 中期英語と初期近代英語について 1 語彙変化 2 綴りと発音の不一致 |
| 5 | 第3章 音声学・音韻論(1) 1 言語で異なる音の区分 2 音韻論と音声学の関係と役割分担 3 音韻文法の仮説の経験的・理論的検証 4 日英語の子音と母音 5 日英語の音韻的特徴 |

出席

| | |
|------|--|
| 入室登録 | 授業開始 10分前 から 授業開始 (チャイム) まで |
| 退室登録 | 授業終了 15分前 から 授業終了 10分後 まで |

出席の登録は、各教室に設置のICカードリーダーに
学生証をかざす必要がある。

※学生証をかざす**時間帯**には注意すること。

K'sLifeで通知します

休講：授業担当者のやむを得ない理由で授業が行われないこと

補講：休講した授業を補うために行う授業
土曜日または平日の6限に実施



大学の学修

1 時間割を作成、WEB履修登録を行う

時間割確定後、教科書を購入

2 授業に出席

休講・補講を常に確認すること

3 レポート提出等、定期試験

4 卒業に必要な単位を修得

5 卒業



学生便覧・履修ガイド・
授業時間割表を参照すること

「学則」 大学全体に関するルール

- ・ 第15条：卒業要件
別表第10は、P.61に記載。
卒業までに **1 2 4 単位以上** 必要。
- ・ 第18条：単位の認定
授業科目修了の認定は、筆記又は口頭による試験や
その他適当な方法によって行われる。

成績評価は以下表示形式。

秀(S)・優(A)・良(B)・可(C)・不可(D/E)

単位修得

教育課程

専門科目

特定の分野について
専門的に学ぶ
(学部・学科で異なる)

外国語科目

外国語によるコミュニケーション能力を養う
(英語・初修外国語)
「聞く・話す・読む・書く」

基礎教育科目

広く様々な学問を学び
人間力を養う

卒業 (124単位以上)



卒業要件【必修・選択必修・選択科目について】

国際文化学部 履修規程第2条：卒業要件

| 授業科目及び単位数 | | | | |
|---|----------------------|----------|--------|---------------|
| 日本文化学科 | | | | |
| (基礎教育科目は含まない) さらに専門科目及び外国語科目から10単位以上 | 学部共通科目 | 必修科目 | 6単位 | |
| | | 選択科目 | 8単位以上 | |
| | 学科共通科目 | 必修科目 | 20単位 | |
| | | 選択必修科目 | 2単位以上 | |
| | | 選択科目 | — | |
| | 学科展開科目 | 文学・語学科目 | 12単位以上 | さらに 20単位以上 |
| | | 歴史・民俗学科目 | 8単位以上 | |
| | | 資格科目 | | |
| | 導入科目 | 2単位 | 20単位以上 | |
| | 2外国語10単位以上 (英語6単位以上) | | | |
| 124単位以上 | | | | |

学生便覧

P.228

第2条参照

卒業要件【必修・選択必修・選択科目について】

国際文化学部 日本文学学科

※印は必修科目 △印は選択必修科目

| 区分 | 第1年次 | | 第2年次 | | 第3年次 | | 第4年次 | | 卒業要件 | |
|----------------------------|--------------------------------------|-----------------|-----------|-----------|----------|--------------------------------|------|------------|--------|--------------------------|
| | 授業科目 | 単位 | 授業科目 | 単位 | 授業科目 | 単位 | 授業科目 | 単位 | | |
| 専 門 科 目 | 学 部 共 通 科 目 | 必修科目 ※日本文化入門 | 2 | | | | | | 6単位 | |
| | | ※アジア文化入門 | 2 | | | | | | | |
| | | ※欧米文化入門 | 2 | | | | | | | |
| | 選 択 科 目 | 言語学 | 2 | 哲学入門 | 2 | 現代思想 | (2) | | | 8単位以上 |
| | | 情報処理演習 | 2 | 古典に学ぶ | 2 | 国際協力論 | (2) | | | |
| | | 民俗学 | 2 | 中国古典文学 | 2 | Intercultural Communication | (2) | | | |
| | | 歴史学 | 2 | 国際関係論 | 2 | | | | | |
| | | 日本語教育学入門 | 2 | 日本語教授法 | 2 | 日本語教育実習 | (2) | | | |
| | 日本語教育文法論 | 2 | 日本語教育授業研究 | 2 | | | | | | |
| | 学 科 共 通 科 目 | 必修科目 ※ゼミナールⅠ | 2 | ※ゼミナールⅡ | 4 | ※ゼミナールⅢ | 4 | ※卒業論文・卒業研究 | 8 | 20単位 |
| ※日本文化研究基礎 | | 2 | | | | | | | 2単位以上 | |
| 選択必修科目 △文学実地踏査A | | 2 | | | | | | | 2単位以上 | |
| △文学実地踏査B | | 2 | | | | | | | | |
| 選択科目 | | | 学外実習 | 2 | プロジェクト演習 | (2) | | | | |
| | | | 海外研修 | 2 | | | | | | |
| 学 科 開 発 科 目 | 文 学 ・ 語 学 科 目 | 日本文学 | 2 | 日本古典文学概論 | 2 | 日本文学特講 | (2) | | 12単位以上 | |
| | | 日本文学史 | 2 | 日本近代文学概論 | 2 | 日本古典文学特講 | (2) | | | |
| | | 日本語学 | 2 | 日本古典文学講読 | 2 | 日本近代文学特講 | (2) | | | |
| | | 日本語表記論 | 2 | 日本近現代文学講読 | 2 | 日本語音韻論 | (2) | | | |
| | | | | 日本語文法論 | 2 | | | | | |
| | 歴 史 ・ 民 俗 学 科 目 | | | 文章表現法A | 2 | | | | | 40単位(さらに18単位以上) 8単位以上 |
| | | | | 文章表現法B | 2 | | | | | |
| | | | | 民俗学概論 | 2 | 民俗学特講 | (2) | | | |
| | | | | 歴史学概論 | 2 | 歴史学特講 | (2) | | | |
| | | | | 伝統文化論 | 2 | メディア文化論 | (2) | | | |
| 日 語 科 目 | | | 伝承文学論 | 2 | 出版文化論 | (2) | | | | |
| | | | 文学と歴史 | 2 | 言葉と社会 | (2) | | | | |
| | | | 言葉と文化 | 2 | くずし字読解 | (2) | | | | |
| | | | | | 国際日本学 | (2) | | | | |
| | | | | | 考古学 | (2) | | | | |
| 日 語 科 目 | 資格科目 | | | 国語科教育法A | 2 | 教科指導法A(国語) | (2) | | | |
| | | | | 国語科教育法B | 2 | 教科指導法B(国語) | (2) | | | |
| | | | | 漢文学 | 2 | | | | | |
| | | | | 書道実技 | 2 | | | | | |



チェックポイント

4年間で履修できる専門科目を記載
1年生は「第1年次」の配当科目が履修可

- ① 学部共通科目
 └ 必修科目：6単位
 └ 選択科目：8単位以上

- ② 学科共通科目
 └ 必修科目：20単位
 └ 選択必修科目：2単位以上

学生便覧P.242

卒業要件【必修・選択必修・選択科目について】

国際文化学部 日本文学学科 ※印は必修科目 △印は選択必修科目

| 区分 | 第1年次 | | 第2年次 | | 第3年次 | | 第4年次 | | 卒業要件 |
|----------------------------|--------------|------------|-------------|-----------------|---------------------------------|--------------|------|--------|-------|
| | 授業科目 | 単位 | 授業科目 | 単位 | 授業科目 | 単位 | 授業科目 | 単位 | |
| 学部 共通科目 | 必修科目 | ※日本文化入門 2 | | | | | | | 6単位 |
| | | ※アジア文化入門 2 | | | | | | | |
| | | ※欧米文化入門 2 | | | | | | | |
| | 選択科目 | | 言語学 2 | 哲学入門 2 | 現代思想 (2) | | | | 8単位以上 |
| | | | 情報処理演習 2 | 古典に学ぶ 2 | 国際協力論 (2) | | | | |
| | | | 民俗学 2 | 中国古典文学 2 | Intercultural Communication (2) | | | | |
| | | | 歴史学 2 | 国際関係論 2 | | | | | |
| | | | 日本語教育学入門 2 | 日本語教授法 2 | 日本語教育実習 (2) | | | | |
| | 学科 共通科目 | 必修科目 | ※ゼミナールⅠ 2 | ※ゼミナールⅡ 4 | ※ゼミナールⅢ 4 | ※卒業論文・卒業研究 8 | | | 20単位 |
| | | | ※日本文化研究基礎 2 | | | | | | |
| 選択科目 | | | | △文学実地踏査A 2 | | | | 2単位以上 | |
| | | | | △文学実地踏査B 2 | | | | | |
| 学 科 展 開 日 科 | | 選択科目 | | 学外実習 2 | プロジェクト演習 (2) | | | 12単位以上 | |
| | | | | 海外研修 2 | | | | | |
| | | 文学・語学科目 | | 日本文学 2 | 日本古典文学概論 2 | 日本文学特講 (2) | | | |
| | | | | 日本文学史 2 | 日本近代文学概論 2 | 日本古典文学特講 (2) | | | |
| | | | | 日本語学 2 | 日本古典文学講読 2 | 日本近代文学特講 (2) | | | |
| | | | | 日本語表記論 2 | 日本近現代文学講読 2 | 日本語音韻論 (2) | | | |
| | 歴史・民俗学 科目 | | | 日本語文法論 2 | | | | | |
| | | | | 文章表現法A 2 | | | | | |
| | | | | 文章表現法B 2 | | | | | |
| | | | | 民俗学概論 2 | 民俗学特講 (2) | | | | |
| | | | 歴史学概論 2 | 歴史学特講 (2) | | | | | |
| | | | 伝統文化論 2 | メディア文化論 (2) | | | | | |
| 資格科目 | | | 伝承文学論 2 | 出版文化論 (2) | | | | | |
| | | | 文学と歴史 2 | 言葉と社会 (2) | | | | | |
| | | | 言葉と文化 2 | くずし字読解 (2) | | | | | |
| | | | | 国際日本学 (2) | | | | | |
| | | | | 考古学 (2) | | | | | |
| | | | | 国語科教育法A 2 | 教科指導法A (国語) (2) | | | | |
| | | | 国語科教育法B 2 | 教科指導法B (国語) (2) | | | | | |
| | | | 漢文学 2 | | | | | | |
| | | | 書道実技 2 | | | | | | |



チェックポイント

- ③ 学科展開科目
└ 文学・語学科目：12単位以上
- ④ 学科展開科目
└ 歴史・民俗学科目：8単位以上
- ⑤ さらに専門科目及び外国語科目から
└ 18単位以上

学生便覧 P.242

卒業要件【外国語科目について】



チェックポイント

外国語科目（2外国語）：10単位以上

・英語：6単位以上

・その他の1外国語：4単位以上

英語

6単位以上

+

第2外国語 [履修例①]

・中国語Ⅰ + 中国語会話Ⅰ 【セット履修】

・中国語Ⅱ + 中国語会話Ⅱ 【セット履修】

・中国語Ⅲ

・中国語Ⅳ

4単位以上

+

第2外国語 [履修例②]

・韓国語Ⅰ + 韓国語会話Ⅰ 【セット履修】

・韓国語Ⅱ + 韓国語会話Ⅱ 【セット履修】

・韓国語Ⅲ

・韓国語会話Ⅲ

4単位以上

卒業要件【基礎教育科目・外国語科目について】

基礎教育科目 外国語科目

| | | | | | | |
|---------------|-------------|----------------------------|----------------------------|------------------------------|-------------|--------------|
| 留學生に 関する科目 | 日本語 | アカデミック日本語 (読む・書く) A (1) | アカデミック日本語 (聞く・話す) A (1) | 実践アカデミック日本語 (読む・書く) A (1) | ビジネス日本語 (1) | グローバル日本語 (1) |
| | | アカデミック日本語 (読む・書く) B (1) | アカデミック日本語 (聞く・話す) B (1) | 実践アカデミック日本語 (読む・書く) B (1) | | |
| | | アカデミック日本語 (読む・書く) C (1) | アカデミック日本語 (聞く・話す) C (1) | 実践アカデミック日本語 (聞く・話す) A (1) | | |
| | | アカデミック日本語 (読む・書く) D (1) | アカデミック日本語 (聞く・話す) D (1) | 実践アカデミック日本語 (聞く・話す) B (1) | | |
| | | アカデミック日本語 (読む・書く) E (1) | アカデミック日本語 (聞く・話す) E (1) | | | |
| | 事日 情本 | 日本の歴史Ⅰ (2) | 日本の歴史Ⅱ (2) | 日本の文化Ⅰ (2) | 日本の文化Ⅱ (2) | |
| | 日本の政治経済Ⅰ(2) | 日本の政治経済Ⅱ(2) | 一般日本事情Ⅰ (2) | 一般日本事情Ⅱ (2) | | |



チェックポイント

4年間で履修できる科目を記載

日本事情

- ・ 日本事情に関する科目：16単位



基礎教育科目の選択科目

に替えることが可能



日本語

- ・ 日本語に関する科目：16単位

(組合せ例)

英語 6単位 + 日本語 4 単位

英語 4単位 + 日本語 6単位

卒業要件【外国語科目について】



チェックポイント

第二外国語(Ⅰ・Ⅱ)は会話とのセット履修が原則

第二外国語Ⅰ

- ・ 中国語Ⅰ + 中国語会話Ⅰ
- ・ 韓国語Ⅰ + 韓国語会話Ⅰ
- ・ ドイツ語Ⅰ + ドイツ語会話Ⅰ
- ・ フランス語Ⅰ + フランス語会話Ⅰ

第二外国語Ⅱ

- ・ 中国語Ⅱ + 中国語会話Ⅱ
- ・ 韓国語Ⅱ + 韓国語会話Ⅱ
- ・ ドイツ語Ⅱ + ドイツ語会話Ⅱ
- ・ フランス語Ⅱ + フランス語会話Ⅱ

授業時間割【見方について】

授業時間割には、
期別（前・後学期・通年）・講義科目・担当者・教室名を記載

| |
|--|
| 外国語 □中国語Ⅰ Ⅰ 2W401 月1・木2セット |
|--|

- ←科目区分
- ←授業科目名
- ←クラスコード（2クラス以上の場合記載）・担当者
- ←教室
- ←履修上の注意事項

| |
|--|
| (19以降)学部共通 * 欧米文化入門 [002]志水、尾張 S302 |
|--|

- ←履修対象学年の指定
- ←単位区分・授業科目名
- ←クラスコード・担当者
- ←教室

☆単位区分

| | |
|-----|--------|
| * 印 | 必修科目 |
| △印 | 選択必修科目 |
| □印 | 選択科目 |

☆履修対象学年の指定

- 19～20：学籍番号が19・20から始まる学生のみ履修可能
- 24のみ：学籍番号が24から始まる学生のみ履修可能
- 23のみ：学籍番号が23から始まる学生のみ履修可能
- 22のみ：学籍番号が22から始まる学生のみ履修可能
- 21のみ：学籍番号が21から始まる学生のみ履修可能
- 20のみ：学籍番号が20から始まる学生のみ履修可能

「国際文化学部 日本文化学科授業時間割表」の下段に時間割の見方を記載しているので確認してください。

授業時間割【見方について】

教室の見方

N101・・・1号館1階北側101教室

2E301・・・2号館3階東側 301教室

8315・・・8号館3階 8315教室

12107・・・12号館1階 12107教室

42番・・・中央会館4階42番教室

パソコン教室1・・・中央会館4階 パソコン教室

パソコン演習室2・・・中央会館3階 パソコン演習室

授業時間割を変更する場合

- ①授業追加
 - ②受講者数等の理由で教室変更
 - ③担当者変更等
- ※教務部HPに掲載



履修ガイドP.6

履修ガイド+K`sLife利用ガイドにも
記載されています。

授業時間割【事前に登録された科目について】

＜事前に履修登録されている専門・基礎教育科目＞

前学期

- ※日本文化研究基礎
- ※欧米文化入門
- ※日本文化入門
- キャリア形成基礎論(基礎教育科目)
- 大学スタディスキル(基礎教育科目:導入科目)

後学期

- ※アジア文化入門
- ※ゼミナールⅠ

4/8までに登録されるため、**K'sLifeを確認**すること

授業時間割【英語クラスについて】

事前に履修登録されている外国語科目

- 「Reading & Writing I・II」
 - 「Listening & Speaking I・II」
英語プレイスメントテスト結果によりクラス分け。
※前期にI、後期にIIを登録しております。
※ Reading & Writing とListening & Speaking は
セットで履修になります。
- 4/6（土）に登録されるため、**K'sLifeを確認**すること。

基礎教育科目の国語科目と数学科目について(1年次生)

4月2日(火)に実施した国語・数学プレイスメントテストの結果により、以下の科目が**履修登録されている場合**があります。
この場合は**必ず履修**し、単位を修得してください。

【国語科目】

- ・低得点層：「実用国語（文章力）」または「人文科学の世界」
- ・高得点層：「実践クロス講座（応用国語）」

※「実践クロス講座（応用国語）」は、夏休み集中講義で実施するため、年間履修上限単位数には含まない。

【数学科目】 ※文系学部のみ

- ・低得点層：「実用数学（計算力）」または
「実用数学（計算力）」 + 「リメディアル数学」

※「リメディアル数学」は補習授業のため、単位は認定されない。

基礎教育科目の【文理芸融合科目】について（1年次生）

基礎教育科目の中には【**文理芸融合科目**】という区分があります。
『**実践クロス講座**』や『**実践コラボ演習**』、『**教養講座**』などです。

内容は、**SDGs**や**ダイバーシティ**、**AI**や**警察**、さらには**囲碁**まで、
様々なジャンルを揃えています。

上記の内容も含め、基礎教育科目では幅広い教養を学べるように
設定されていますので、ぜひ興味のある科目を探してみてください。

AI・データサイエンス副専攻について

AI・データサイエンス副専攻について -学部横断型の学び-

- 1 社会において必要とされる、AI・データサイエンスに関する**基礎的な教養**を修得する。
- 2 本学に設置する分野から、横断的にAI・データサイエンスに関する様々な**知識・経験**を得る。
- 3 体系的な学修を通して、AI・データサイエンスの考え方を**理解・活用**することができる。

今後のためにぜひ受講してください。

※興味がある学生は学生便覧を確認してください。

卒業要件【成績原簿の見方について】

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|---------------------|----------------------|---------------------|--------------|----------------------------|----------------------------|-----------|-------------|----|------|-----------|-----|-----|-----|---|-------------|-------------|-------------|---|
| 学部共通 (必修) (6) | 学部共通 (選択) (8) | 学科共通 (必修) (20) | 学科共通 (選択) (2) | 学科共通 (選択) | 学科履修 (文学・ 歴史・ 資格) | 学科履修 (文学・ 歴史・ 資格) | 計 (40) | 他学部・ 他学科 | 英語 | ドイツ語 | フランス 語 | 韓国語 | 中国語 | 日本語 | 計 | 小計 (104) | 基礎文化 学科目 | 専入科目 (2) | |
| 6 | 4 | 4 | 0 | 0 | 8 | 0 | 0 | 8 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 | 4 | 30 | 12 | 2 |

チェックポイント

① () 内の単位数は最低限修得が必要な単位数です。

② 2外国語 10単位以上の修得が必要です。
┌ 英 語：6単位以上
└ その他1外国語：4単位以上 } 10単位以上

③ 他学部・他学科履修科目は、卒業要件の一つである「さらに専門科目及び外国語科目から18単位」に振替できます。

**履修は
計画的に**



注意点

基礎教育科目で修得した単位の余剰は「さらに専門科目及び外国語科目から18単位」に振替はできません。

履修登録

履修登録期間

4月6日(土) 10:00

- 4月8日(月) 23:55 まで

※ 前学期・後学期及び通年科目すべてこの期間に登録すること。

履修登録変更期間

前学期 4月 9日(火) 10:00 - 4月12日(金) 23:55まで

後学期 9月 9日(月) 10:00 - 9月20日(金) 23:55まで

※ 他学部・他学科科目の履修はこの期間に申請すること。

他学部・他学科科目の履修希望者はまず教務部窓口へ。



- 授業内容・教室の規模に応じて履修登録を制限している科目もある。
- 履修登録期間終了後は科目の追加登録はできません。

学籍情報の更新

1

menu > マイinfo > 学生情報をクリック



2

学籍詳細情報の「編集」をクリック



学籍情報編集

学籍情報を入力して、「登録」ボタンを押してください。
必須入力項目には、項目名の右側に必須マークが表示されています。
学籍詳細情報の郵便番号、住所、電話番号項目で、登録内容に変更のある場合は、画面右下の「変更届」を印刷し、
必要事項を記入して 教務課へ必ず 提出してください。
携帯E-mailアドレスを変更登録した場合、登録したアドレスあてに「登録メールアドレス確認」という件名のメールが届きます。

A screenshot of the '学籍情報編集' page. At the top, there is a header with a profile picture placeholder and the student's name: 学生 一郎 (ガクセイ イチロウ) and 1年. Below this is a section titled '学籍基本情報'. This section contains a table with the following information: 学籍番号 (blacked out), 在籍状況 (在学中), 学生氏名 (学生 一郎), 性別 (男), 在学形態 (一般学生), and 学生区分 (一般学生). At the bottom right of the page, there are two buttons: '変更届印刷' and '登録', with the '登録' button highlighted by a red box.

3

変更が生じた情報を更新し、「登録」をクリック

注意点

- ①氏名等WEB上で更新できない項目に変更が生じた場合は教務課窓口に 変更届を提出してください。
教務課WEB> 学籍に関するページ> 本人・保証人の住所等変更について
- ②必ず**最新の電話番号・アドレス**に変更してください。

教職資格等

教職・学芸員・社会教育主事・司書等
資格取得が可能

《教職課程》

1年次後学期から履修開始

7月頃教職ガイダンス実施(1年次生対象)

《司書・学芸員・社会教育主事》

1年次前学期から履修開始

資格課程ガイダンス(司書・司書教諭・学芸員・社会教育主事)

希望者は以下時間帯に**必ず出席**すること。

4月5日(金) 17:30～ S201教室

教科書購入Webサイト

Webサイト公開期間

4月3日(水) - 5月31日(金)

教科書受渡

受渡場所

3号館 8階 教科書受渡所

受渡期間

4月5日(金) - 4月26日(金)

※この日以降は1号館横 丸善売店で受け渡し



- 履修する科目のシラバスを確認すること
- 購入後の返品ができない場合があるため、履修登録が終了した後購入すること。

本日以降スケジュール

4月5日（金）

11：00～12：00 履修登録説明会 1号館6階 OA2教室

13：00～17：00 新入生オリエンテーション

1号館3階 N302教室

4月6日（土）

10：00～ 履修登録開始

4月8日（月）

授業開始

※詳細は、新入生オリエンテーション等日程表を確認



日本学生支援機構奨学金

※高校時に申請を行い「採用候補者」となった学生が対象

国際文化学部 日本文化学科 1年生

日程:4月3日(水)10:00~

場所:1号館2階 S207教室

※なお、**高校時に申請していない方**で、日本学生支援機構奨学金の貸与を希望する方につきましては、この説明会ではなく、新規在学採用の説明会を別途開催します。掲示板等で日程・集合時間等を確認のうえ、出席してください。ご不明な点については、**1号館3階厚生課**にお尋ねください。

これからのスケジュール

4月5日（金） 11:00～12:00

WEB履修説明会
（OA教室2 … 1号館6階）

4月5日（金） 13:00～17:00

新入生オリエンテーション



12:45

N302

集合

資格取得講座等のWEBページ→ [Skill Up for MIRAI](#) 詳しくは大学HPからチェック！！

A banner image for 'Skill Up for MIRAI' featuring a woman in a library. The text 'Skill Up for MIRAI' is prominently displayed in white. Below it, the Japanese text 'あなたの未来に役立つ資格' (Qualification that will be useful for your future) is written. On the left, there is a vertical red bar with 'KSU' at the top and 'MENU' at the bottom, with three dots in between. On the right, there is an inset image of a woman sitting in a library, with the text 'ON CAMPUS MERIT' and '学内受講のメリット' (Benefits of on-campus enrollment) overlaid.

KSU

Skill Up for MIRAI

あなたの未来に役立つ資格

ON CAMPUS MERIT

学内受講のメリット

MENU

《受講メリット》

- ①国家・公的・民間の幅広い資格に対応
- ②九産大生用の特別価格 & カリキュラム
- ③学内受講による時間の有効活用
- ④充実したサポート

資格を取得することで
最大5万円をキャッシュバックする
《キャリア・アップ支援奨励金制度》
対象資格講座も多数開講！

※資格種別により支給額が異なります



九州産業大学キャリア支援センター LINE公式アカウント

※必ず登録してください！！

就職支援行事の案内に加えて、
K'sLifeで流していない、細かな支援
サービスやイベントのご案内等を配信
しています！



ポイント

- ① 情報を逃さずゲット！
- ② 各種サービスに簡単アクセス！
- ③ 面接練習の予約ができる！
- ④ 通知OFFでもOK！



教務課からのお願い

1. 電話に出てください

「092-673-****」は大学からの大事な連絡です。
必ず電話に出るか、折り返しの連絡をしてください。

2. 学籍情報を更新してください

メールアドレス・電話番号が変わったら必ず更新してください。
住所変更等、K's Lifeで更新できない項目が変わったら、必ず教務課に届出をしてください。

3. わからないことは何でも相談してください

分からないことがあったら、まずは自分で調べてみてください。
調べても分からなければ、すぐ聞く、連絡する、相談するなどしてください。